



# 「慈愛の心」を大切に ～なかよく 助け合い 思いやり～

長井市立長井小学校

長井小学校は、校是を「慈愛」としてから今年度で25年目になります。慈愛の心である「なかよく、助け合い、思いやり」の心を育むため、さまざまな取り組みの中で交流活動を重視し、子ども一人ひとりの「いのち」輝く姿を目指しています。

交流活動は、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていくことを身につける大切な活動です。授業中のペア、グループ交流をはじめ、1年と6年、2年と5年、3年と4年といった学年間の組み合わせなど、幅の広い組み合わせで活動しています。同学年や異学年と交流していく中で、「慈愛の心」を育てていきます。

子ども達がいつまでも歌える長井小の心の歌を作りたいという願いから、平成5年に「慈愛のうた」が作られました。歌詞は、当時の児童たちが学級毎に「慈愛の心」をイメージするワンフレーズを出し合い、一つに作り上げられました。「慈愛のうた」は学校集会や式典などいろんな場面で披露され、いつの時代でも「慈愛の心」を育む歌として、歌い継がれています。

交流活動が盛んな長井小学校では、地域との関わりを深め、郷土の伝統文化を大切にしようと、クラブ活動で「黒獅子舞」に取り組んでいます。平成15年に山形で開催された国民文化祭のときに、黒獅子舞を披露したのがきっかけで始まりました。現在は、「ながい黒獅子まつり」やさまざまな式典で披露されています。黒く漆で塗られた獅子頭を操っている真剣な子ども達の姿は、観る人を魅了します。

一年間、さまざまな活動の中で「慈愛の心」を育ててきましたが、その集大成として毎年10月下旬に「慈愛まつり」を行っています。各学年毎に劇や演奏を発表したり、子ども達の絵や習字を展示したりして、来校する保護者の方々を歓迎します。「慈愛まつり」では、子ども達はもちろん教職員も一年間を振り返り、お互いに「慈愛の心」が育まれていることを確認し合います。

長井小学校は、これからも子ども達の「慈愛の心」を親と教師の「慈愛の心」で育てていきます。



交流活動

慈愛の心	慈愛のうた	作詞 長井小児童 作曲 高木大輔 高橋 憲
さあ 心と心を 結び合い つくろう つくろう きずこう きずこう 思いやり あふれる 慈愛の心を	友だち いっぱい えがおが いっぱい みんな なかよし 楽しいね 困っているとき 助け合い 苦しいときには はげまして みんな なかよし やさしいね	



黒獅子舞



慈愛まつり



慈愛の像